

みんなの議会だより

題字：青生野小学校 4年1組 森田 遥麗さん



なかよしりんごがり
おいしいね~!!

9月定例会

平成26年度決算認定	2
議案調査	4
8人が登壇 ズバリ!!村政を問う!(一般質問)	6~13
クラインガルテン先進地視察	14
村民の広場 私の夢シリーズ	15
ふるさと鮫川への想い	16

財政状況は良好状態



大樂勝弘 村長

9月定例会は、9月15日から18日までの4日間の会期で開かれた。今定例会では、平成26年度会計の決算認定9件、平成27年度各会計の補正予算9件のほか、条例の制定・一部改正5件、専決処分の承認1件の24議案と報告事項1件が審議された。提出された議案は、全て原案のとおり可決した。また、副村長、固定資産評価審査委員会委員の選任及び教育委員会委員の任命につき同意を求め、人事案件3議案と諮問1件、議員発議による議会会議規則一部改正1件を全議員で同意・可決した。一般質問では、8名の議員が登壇し、村政全般について質した。

■ 会計別決算状況

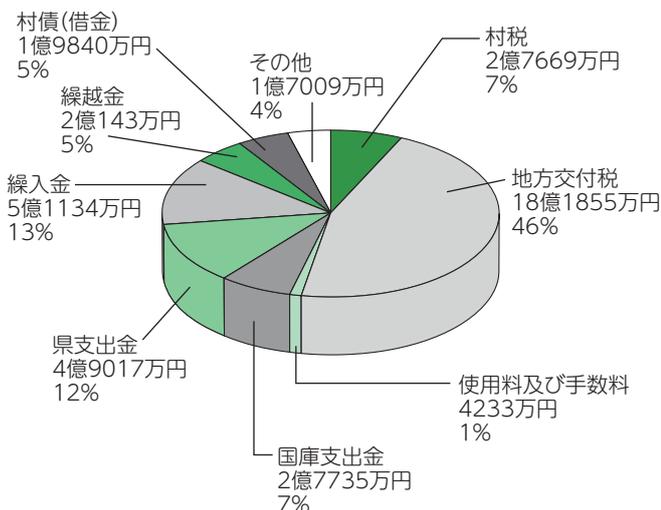
会計別		歳入総額	歳出総額	差引額
一般会計		39億8634万7千円	38億5451万9千円	1億3182万8千円
特別会計	国保			
	事業勘定	5億1059万2千円	4億8478万円	2581万2千円
	直診勘定	7689万3千円	6748万1千円	941万2千円
	簡易水道	1億5545万5千円	1億5452万1千円	93万4千円
	村営バス	3341万円	3044万1千円	296万9千円
	集落排水	3148万3千円	3105万9千円	42万4千円
	介護保険	4億5505万7千円	4億3682万円	1823万7千円
	交流施設	1226万2千円	1225万7千円	5千円
	学校給食センター	1億334万9千円	1億303万6千円	31万3千円
	後期高齢者医療	3521万6千円	3519万6千円	2万円
	小計	14億1371万7千円	13億5559万1千円	5812万6千円
決算総額		54億6万4千円	52億1011万円	1億8995万4千円

一般会計、歳出決算額 38億5451万9千円
平成26年度の歳出（支出）決算は、一般会計が38億5451万9千円、8つの特別会計の合計額が13億5559万1千円で、52億

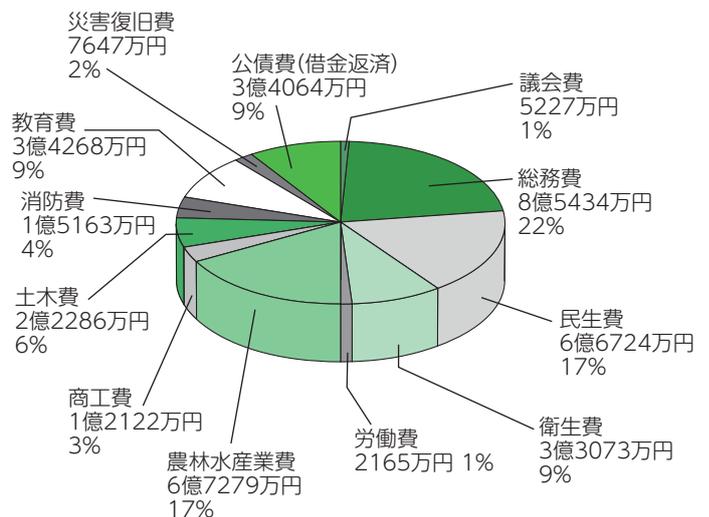
1011万円となった。決算収支の状況では、一般会計で歳入歳出差引額が1億3182万8千円となったが、このうち7347万1千円は翌年度への繰越財源として事業を実施する。

■ 一般会計決算状況

歳入決算



歳出決算



全会計の決算を認定

26年度の主な事業

- 湯の田温泉活用事業 2590万円
- こどもセンター浄化槽入替工事 3029万円
- 空調設備設置事業 2534万円
- こどもセンター 2534万円
- 鮫川小学校 2780万円
- 青生野小学校 481万円
- 鮫川中学校 2327万円
- 青生野小学校太陽光発電設備工事 3011万円
- 生活圏の森林除染業務 3038万円
- 農産物備蓄倉庫改修工事 2819万円
- 中山間地域等直接支払交付金 1億5300万円
- 米価下落対策事業 3589万円
- 穀地区農道改良工事 2050万円
- 鹿角平観光牧場コテージ新築事業 4718万円
- 鹿角平観光牧場クロスカントリー整備工事 3117万円
- 村道鮫川中学校線舗装工事 6414万円
- 定住促進住宅整備事業 伏木田住宅建設工事 5768万円

監査委員 決算審査意見書(抜粋)

一般会計では、7347万1360円が27年度へ繰り越す額であり、このような厳しい財政状況の中で自立の村づくりに向けて適正な財政運営の効率化を図り、実質収支額が黒字決算となったことに対し敬意を表する。

村税の年度内完納を達成し58年間継続完納となったことを評価したい。村債(借入れ)は、対前年比7.4%の増であったが、全会計総括的には、黒字で翌年へ引き継いだことは喜ばしいことであり、今後より一

財政健全化判断比率は良好

法律に基づき、市町村では毎年度の決算において、4つの財政健全化判断比率の公表が義務付けられています。

村の決算では、実質赤字比率、連結実質赤字比率ともに黒字決算であり赤字額は発生しません。また、実質公債費比率、将来負担比率は健全化基準を下回り良好な状態を示している。

- ◆**実質赤字比率** 一般会計等(普通会計)における赤字額の標準財政規模に対する比率
- ◆**連結実質赤字比率** すべての会計の赤字額の標準財政規模に対する比率
- ◆**実質公債費比率** 一般会計等(普通会計)が負担する地方債の償還金の標準財政規模に対する比率
- ◆**将来負担比率** 一般会計等(普通会計)が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

層の効率的な予算の執行に留意され、健全財政の運営に徹し、住民福祉向上に努めていくことが望まれる。

平成27年9月7日
 監査委員 根本 一美
 監査委員 前田 雅秀



決算審査報告 根本一美代表監査

資金不足比率

(%)

資金不足比率	26年度	25年度	資金不足比率
簡易水道事業特別会計	—	—	20.0
集落排水事業特別会計	—	—	20.0

財政健全化判断比率

(%)

早期健全化判断比率	26年度	25年度	健全化基準
実質赤字比率	—	—	15.0
連結実質赤字比率	—	—	20.0
実質公債費比率	5.3	6.7	25.0
将来負担比率	—	—	350.0

議案調査

議会開会中に各常任委員会は、諸議案の内容について調査を行い、詳細について各課長などから聞き取り検討調査した。



産業厚生 常任委員会

決算審査調査内容
(主なもの)

- 臨時福祉給付金事業
- 社会保障・税番号制度に伴うシステム開発業務
- 村民保養施設温泉送水配管工事
- 障害者自立支援給付費
- 農用地除染対策事業
- 農産物備蓄倉庫改修工事
- 未来の担い手拠点施設改修工事
- 東日本大震災農業生産対策交付金
- 経営体育成支援事業費
- 米価下落対策生産奨励金
- ふくしま森林再生事業
- 住宅除染業務
- 医師住宅建築工事
- 敷地区農道整備工事
- 村道鮫川中学校線舗装工事
- 定住促進住宅整備事業建設工事



総務文教 常任委員会

決算審査調査内容
(主なもの)

- 平成27年度備品購入費
- スクールバス・トレーニン
- グマシン
- 学力診断テスト
- 指導参考書購入費
- 小学校プール解体工事
- 金剛力士立像修繕業務
- 鹿角平観光牧場委託料
- 工事請負費
- イベント情報動画撮影業務
- 観光推進事業協力報償
- 交流施設特別会計歳入歳出決算
- 村長交際費
- 借地料
- 道少田内地内住宅解体工事

代表質疑(要旨)

平成26年度
決算認定について

総務文教常任委員会



関根政雄 議員

問 ①立ち木売り払い収入の詳細

②平成26年度交流施設(ほっとはうす)特別会計歳入総額が、平成25年度より400万2303円歳入減となった要因、使用料収入が昨年度より減少しているが、25年度以降賠償金を請求していない。これらの風評被害、直接被害の因果関係を伺う。

③英語宿泊体験研修の成果、教育振興費教材と全国一斉学力テストの結果

答(村長)

①分収造林の契約満了に伴う伐採による売り払い収入である。分収林2力所を合わせて9万4097㎡、落札額が5996万1600円であり、収益、分収の割合

が国30%、村70%のため、村収入は417万3120円となる。

②平成25年度は東電関係の作業員や団体の宿泊があったが、26年度は作業員の利用が無く、合宿などの利用が少なかったことが収入減の要因である。また、23年度と24年度の東京電力の賠償金を25年度に収入したことにより、26年度は前年度比131万9038円の雑入減となっている。賠償金支払の当初の説明は、24年度までだったが、現時点では26年度まで認められることとなった。25年度26年度の交流施設減収分については、今般、請求する。

答(教育長)

③英語宿泊体験研修はブリティッシュヒルズにて、小学生は2泊3日、中学生は1泊2日で、全て英語による研修であり、最適な環境での学習である。

教師用指導解説書は、教

科ごとに分かれ、1年から6年までの学年、学級ごとに必要なものである。教科書は4年ごとに改訂した。全国学力学習状況調査において、国語は、小学校が

全国平均、中学校がほぼ全国平均。小学校算数は、B問題で県平均をわずかに下回り、中学校数学は全国平均以下であり、算数と数学に課題を残した。

平成26年度
決算認定について

産業厚生常任委員会



北條利雄 議員

問 ①社会保障税番号制度に伴うシステム開発業務の進捗状況と住民周知、広報活動を伺う。

②湯の田温泉水の今後の利活用を伺う。

③館山公園の管理業務の運営方法を伺う。

答(村長)

①本年10月5日からの施行に向け、システム開発業務を委託整備した。利用開始のために必要な開発業務を12月中に完了し、1月の利用開始に向けて整備する。広報活動は、ホームページで随時、情報を掲載している。また全世帯に

リーフレットの配布、広報12月号に概要を掲載し周知する。

②湯の田地区整備業務、建物の解体工事を年度内に完了する計画である。湯の田温泉基本構想策定は、広く村民の意見を反映するために、温泉活用基本構想検討委員会を設置する。現在、委員を公募している。計画は27年度までに策定し、28年度には温泉活用事業を実施する。

③平成27年度は、年に2回、ボランティアによる草刈作業を実施しており、遊歩道の管理、樹木の剪定、施設の管理はシルバー人材センターへ業務委託している。公園全体の草刈業務は、緊急雇用対策事業により同人材センターが実施している。

補正予算

一般会計

スクールバス購入など

9628万2千円を追加可決

平成27年度一般会計の補正予算(第6号)を原案のとおり9628万2千円を追加可決し、歳入歳出とも33億39万3千円とした。

主な歳入補正

- 国庫支出金
- ・小学校費補助金
- へき地児童援助費
- 377万円追加

- 繰入金
- ・公有施設整備基金繰入金
- 1000万円追加
- ふるさとづくり基金繰入金
- 200万円追加

- 繰越金
- ・前年度繰越金
- 5347万1千円

主な歳出補正

- 総務費
- ・湯の田地区整備工事
- 930万円追加

- 通知カード・個人番号カード関連事務委任負担金
- 135万4千円追加

- 商工費
- ・商工会乾燥施設整備事業費補助金
- 200万円追加

- 観光施設管理工事
- 540万円追加

- 土木費
- ・道路維持補修工事
- 450万円追加
- 教育費
- ・教育振興費
- 1544万4千円追加
- ・スクールバス購入
- 1544万4千円追加
- ・体育施設費
- トレーニングマシン購入
- 95万1千円追加
- 災害復旧費
- ・災害復旧工事費
- 168万円追加

報告

▼平成26年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律により監査委員の意見を付して報告する。

条例の制定・一部改正を可決

▼特定個人情報保護条例

番号法では、個人番号を含む個人情報(「特定個人情報」と定義し、一般的な情報以上に保護することを求めていることから、本村においても鮫川村特定個人情報保護条例を制定し、その適正な取り扱いについて規定するもの。

▼情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例

鮫川村情報公開・個人情報保護審査会が所掌する事務に、鮫川村特定個人情報保護条例の規定に基づく諮問に応じた審議を加えるもの。

▼個人情報保護条例の一部を改正する条例

会計別	補正額	補正後の予算額	
一般会計	9628万2千円	33億39万3千円	
特別会計	国 事業勘定	2718万2千円増	5億4810万4千円
	保 直診勘定	878万4千円増	8095万5千円
	簡易水道	25万8千円減	1億9948万9千円
	村営バス	296万8千円増	1158万5千円
	集落排水	0円	3393万9千円
	介護保険	1823万6千円増	4億7838万3千円
	交流施設	51万6千円増	1421万6千円
	学校給食	83万2千円増	1億646万3千円
	後期高齢者	1万9千円増	3516万5千円
	合計	1億5456万1千円増	48億869万2千円

補正が行われた10会計。集落排水会計の総額は変わらず内容が変更された。

▼番号法という特定個人情報の取扱いについては、鮫川村特定個人情報保護条例に拠ることとするため、既存の鮫川村特定個人情報保護条例においては適用除外とすることを規定するもの。

▼手数料条例の一部を改正する条例

番号法の規定による通知カード及び個人番号カードを再発行する場合の手数料について規定するもの。併せて、番号法の施行により廃止することとなる住民基本台帳カードの発行手数料について削除するもの。

▼移動通信用鉄塔施設設備及び管理に関する条例の一部を改正する条例

※専決処分を承認

▼平成27年度一般会計補正予算(第5号)

台風11号(7/16~17)による公共土木施設災害復旧事業及び農業施設災害復旧事業について、災害査定を受けるための測量設計業務委託料について、財源を予備費から充当し、各事業を併せた3360千円について、専決処分したものを。

人事案件を同意

▼副村長の選任に同意

白坂 利幸(再選)
(赤坂西野字茅)

▼教育委員会委員の任命に同意
阿久津 光市(新任)
(西山字折戸)

▼固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

大平 忠一(再選)
(富田字二反田)
藤元 健次郎(再選)
(赤坂西野字蔵平)

諮問を答申

▼人権擁護員の推選を答申
水野 きよ子(再選)
(赤坂中野字宿ノ入)

議員発議・議会会議規則の一部を可決

▼議会における欠席の届け出の取り扱いに関して、出席の場合の欠席の届け出について、新たに規定するもの。

※専決処分とは
村長が緊急のため議会を召集する時間的余裕がないとき等に、議決すべき事柄を処分すること。この場合は、次の議会に報告し、議会の承認を求める手続きが必要となる。